言語活動の充実を図り、確かな学力の向上を図る実践

【三郷市教育委員会】

1　学校、学年、教科　　小学校、全学年、算数科

2　ねらい　　各検証テスト、校内アンケートの結果から、本校の課題である「読む力・読み取る力」の育成のために、算数科の授業を中心に全教育活動を通して言語活動の充実を図り、確かな学力が身につくようにする。

3　取組内容

（１）日々の授業での取組

①算数的活動を通した言語活動の充実

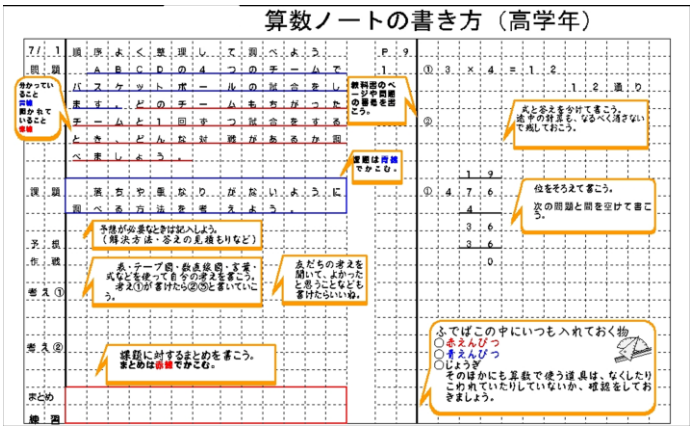
・**「ペアやグループで説明し合う」「全体の前で代表して発表する」**など、さまざまな形態で発表の場を意図的に設定する。そして児童相互の言語活動によるやりとりの場面を多く確保し、児童同士が説明に補足をして分かりやすくしたり、質問したりして主体的に考えを述べ合い、理解を深められるようにしている。

②思考したことを表現する技能の習得

・**「ノートの書き方」**を作成し、各学年の発達段階に応じた考えの表し方、まとめ方を示し、思考を整理して表す力を伸ばすようにした。

・自分の考えは、**「①言葉、②数、③式、④図、⑤表・グラフを用いて表す」**ことで解決していくよう指導している。また、他の友達の考えと関連付けて考えたり、わかりやすく工夫したりした表現に気づく力などを高めていくようにしている。

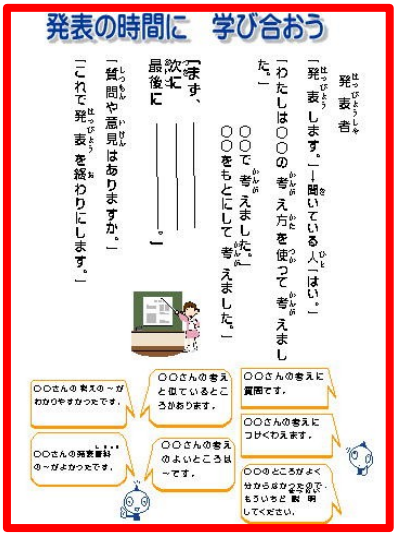
・**「ノート発表会」**を毎月実施し、各学年のよいノートを掲示して参考にしたり、指導に活用したりして、児童の意欲とノートにまとめる、表現する力の育成を図っている。



③効果的に表現するための方法の習得

・低学年から多様な表現方法を経験し、情報機器や指示棒の使い方を段階を追って習得している。

・**「発表の時間に学び合おう」**と発表時のルールを学校で統一して掲示している。発表の形を身につけることで、発表が苦手な児童も自信を持って発表できるようにしている。



④少人数指導による個に応じた指導の工夫

本校では３年生～６年生で少人数指導を行い、児童の誰もが意欲的に学べる授業をめざしている。

・**習熟度別少人数指導**では、学力低位グループの人数を全体の１／３程度にし、毎時間実施することで児童の学ぶ意欲が向上し、基礎的学習内容を確実に身につけてきている。

・**「説明・発表」**の場を多く設定することで、図や式等を使って説明できる児童が増えてきている。

（２）教育活動全体での取組

授業で学んだことをさらに習熟させ、確かな力としていくために、多様な視点から児童の学習意欲を高め、学力向上に取り組んでいる。

①**週に２回業前活動「スキルアップタイム」**を設定し、基本的な計算問題に取り組んでいる。

②**週に３回昼休み「パワーアップタイム」**を設定し、補充的な学習を必要とする児童に対して、加配教員と教務主任が補習を行っている。

③**毎月１回放課後「補習タイム」**を設定し、各クラスにおいて補充的な学習を計画し実施している。

④３つの達成目標検証テストに向け、保護者懇談会時に**「冬の学習会」**を開き練習問題を行っている。

⑤夏休み中には**「サマースクール」**を５日間設定し、学校応援団や近隣中学校の協力のもと、全校児童に希望を募り実施している。

⑥**漢字検定・算数検定を年２回**設定し、事前の学習会を開き、学ぶ意欲と達成感を味わわせている。

⑦**読書活動の推進**により、豊かな心とともに、「読む力・読み取る力」の育成を図っている。

・**週に１回業前活動「全校読書」「読み聞かせ」**の実施

・**毎月１回業前活動「全校朗読発表会」**で代表学年の発表

今月の詩を選び、全校掲示板に掲示する。

・**「言葉の力・暗唱の達人」**を実施し、達成者を表彰する。

市作成の読書推進資料を活用し、声を出して読む体験を重ねる。

⑧**学習規律の徹底**を図り、学習への意識と集中力を育てる。

・本校の重点課題を**合い言葉**にし、全校一丸で取り組む。

「机すっきり、背筋をピン」毎月ふり返りチェックを実施し、

がんばっている児童を賞賛している。

（３）家庭との連携

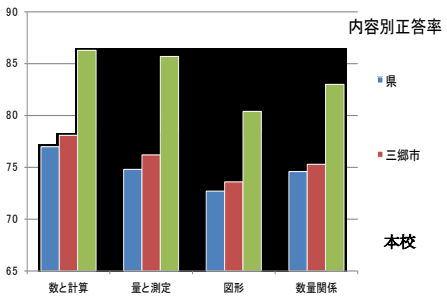
学力の向上には、家庭の協力が不可欠である。家庭での学習習慣の確立を目指し、家での過ごし方、学び方を支援している。

①**毎月家庭学習週間**を設け、目標学習時間を示し**「家庭学習のススメ」**

チェックシートで振り返りをし、保護者に見届けてもらっている。

４　成果と課題

これらの取組を継続してきたことによって、平成２３年度県学習状況調査の領域別正答率や３つの達成目標検証結果では、昨年度の本校の結果や県、三郷市の正答率を大きく上回ることができた。また、学力低位の児童でも、進んで自分の考えを発表できる児童が増え、意欲的に学習に取り組む態度が育ってきている。

今後さらに、算数科での取組で身に付けた力を他教科にも波及させ、総合的に学力を高めていくこと、表現活動の充実と習熟を深める学習との両立を図ることに努めていく必要がある。

平成23年度　埼玉県学習状況調査